

①現在どうなっているか要確認。最新の情報に差し替えを。

(回答)

- ・見直しにあたって、自治会と共に自治会支援の在り方について意見交換等を実施。
- ・そこで自治会が共通して抱える大きな4つの課題が確認できたことから、更に意見交換等を実施。
- ・自治会からの意見を踏まえた自治会支援策案を作成し、新しい自治会支援制度についての説明会を開催。
- ・令和6年度から新たな自治会支援策へ移行する。

【取組実績】

- ・R4.8:「自治会アンケート」回答率61.3%、144自治会/235自治会
- ・R5.1:「自治会支援の在り方に関する意見交換会」全7回、58自治会、87名参加
- ・R5.1:「自治会未加入者アンケート」回答832件
- ・R5.6:「新しい自治会支援について意見交換会」全7回、70自治会、105名参加
- ・R5.6~9:「新しい自治会支援について」メールやオンラインなどで意見収取 回答44件
- ・R5.10:「新しい自治会支援制度への移行についての説明会」全2回、52自治会、71名参加  
説明会に参加できなかった自治会へは希望により個別に説明を実施17自治会
- ・R5.11:R6年度から新たな自治会支援策へ移行する決定通知送付

【R6年度から移行する新しい自治会支援策】

1 加入促進支援

- (1) 転入者向けチラシを刷新
- (2) 不動産事業者から自治会独自のチラシを配布
- (3) 未加入者が自治会にアクセスしやすい仕組みづくり
- (4) 市ホームページの自治会ページを刷新して自治会活動をPR

2 地域連携促進

- (1) 自治会同士の交流機会『ひのまちトーク』の継続開催
- (2) 自治会同士の連携を促進する補助金を創設
- (3) 交流サイト「Hi-Know!」を活用した情報共有

3 負担軽減

- (1) 市からの業務依頼を整理
- (2) 市からの調査物、依頼通知等のとりまとめ
- (3) 市から発送する回覧物は月1回に整理し、地域協働課からまとめて発送
- (4) 市以外の機関に対しても、自治会負担軽減の働きかけ
- (5) 各種申請・報告書の様式を簡素化・データ化
- (6) 市ホームページに自治会向けページを作成

#### 4 補助金

- (1) 運営費補助金（改正）※総世帯数を加入世帯数に変更、単価の増額  
自治会区域の加入世帯数×単価 500 円
- (2) 活動費補助金（新規）※インセンティブ補助金は廃止、上限額を引上げ、補助率を明記  
総事業費の 1/2（上限 20 万円）  
※予算を超えた申請があった場合は、予算の範囲内で一律按分した額を補助
- (3) 連携補助金（新規）※連携を促進する仕組みづくり  
複数自治会が連携した事業を年 1 回以上実施する場合 一律 2 万円を補助（3 年間）
- (4) 集会所補助金（継続）※変更なし  
1 施設あたり 23,000 円
- (5) 経過措置（制度変更に伴い減額となる自治会への経過措置は以下の選択制 A 又は B）
  - A 令和 6 年度から新制度へ移行を希望する場合
    - 令和 6 年度 対 R5 年度の減額分 1/2 を経過措置として補助
    - 令和 7 年度 対 R5 年度の減額分 1/4 を経過措置として補助
  - B 令和 5 年度交付額の据え置きを希望する場合
    - 令和 6 年度 R5 年度の自治会補助金＋インセンティブ補助金の合計額を交付  
※インセンティブ補助金は R5 年度に交付を受けている場合のみ  
※新制度の活動費補助金と連携補助金は申請不可
    - 令和 7 年度 新制度に移行した上で、対 R5 年度の減額分 1/2 を補助
    - 令和 8 年度 対 R5 年度の減額分 1/4 を経過措置として補助

②各年度の「財政効果額」はマイナスの数値となる。（現補助額－各年度の補助額）

（回答）

年度	予算額	差額（現補助額－各年度の補助額）
R5 年度	21,107 千円	—
R6 年度	29,272 千円（予定）	8,165 千円増
R7 年度	24,840 千円（予定）	3,733 千円増
R8 年度	23,003 千円（予定）	1,896 千円増
R9 年度	21,166 千円（予定）	59 千円増

③各自治体会からの会計報告の確認はしているか？また、どのように確認をしているか（自治会の作成する財務会計資料はどこまで提出を求めているか。領収書の添付を求めているか）

（回答）

自治会補助金実績報告書及び日野市自治会収支報告書（決算書）様式の提出を求め確認

時期：翌年度 4 月末

対象：自治会補助金の交付を受けた自治会

確認：実績報告書と自治会収支報告書で実績を確認、領収書の添付不要

(記載項目)

○補助事業の成果

○収入（補助金・前年度繰越金・会費・その他）

○支出（補助対象事業・集会所経費・補助対象外経費）、次年度繰越金

④コロナ禍を経た現在の自治会活動状況の変化について所見（報告書等の比較表があれば）

(回答)

下記、R2～4年度の返金等の推移のとおり、自治会補助金の返金件数及び返金額が共に減少していることから、コロナ禍で自粛していた自治会活動が再開されていることが考える。

<返金等の推移>

年度	返金を行った自治会数	返金額の計
R2年度	23自治会	979,656円
R3年度	17自治会	487,377円
R4年度	6自治会	201,893円